

授業科目名 (英訳)	コーポレート・ガバナンスの国際比較 International Comparison of Corporate Governance					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・IALNAZOV, Dimiter Savov				
配当学年	2・3回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 後期	曜時限	金/5	授業形態	講義	使用言語	英語
【授業の概要・目的】											
<p>先進国と発展途上国におけるコーポレート・ガバナンス（企業統治）を学習することにより、コーポレート・ガバナンスの問題点や今後のコーポレート・ガバナンス改革について学生に考えてもらうことがこの授業の目的である。前半では、英米の「アウトサイダー・モデル」やヨーロッパ大陸の「インサイダー・モデル」といったコーポレート・ガバナンス類系関連のテーマを取り上げる。また、エンロン、ワールドコム、パルマラット、ユービーエス、及びリーマン・ブラザーズが引き起こした大きな企業不祥事も紹介する。後半では、アメリカ、ヨーロッパ、東アジアにおける取締役会、政府規制、M&amp;A や敵対的買収、企業の社会的責任（CSR）体制の比較を行う。さらに、学生に特定の国、または特定の企業のコーポレート・ガバナンスを分析してもらった上、今後のコーポレート・ガバナンス改革について考えてもらう。最後の二回の授業では、学生に自らの期末レポートの内容について発表してもらう。</p>											
【到達目標】											
<p>コーポレート・ガバナンス（企業統治）の現状と課題について理解できる。また、様々な国または企業におけるコーポレート・ガバナンス（企業統治）の国際比較を行う能力を習得できる。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>第1回. 授業についての説明  第2回. アメリカ、ヨーロッパや東アジアにおける「株式会社」の歴史と現状  第3回. 英米の「アウトサイダー・モデル」やヨーロッパ大陸の「インサイダー・モデル」  第4回. 「アウトサイダー・モデル」や「インサイダー・モデル」が抱えるコーポレート・ガバナンスの問題点  第5回. 金融資本主義下のコーポレート・ガバナンスの問題点  第6回. 大きな企業不祥事の事例（エンロン、ワールドコム、パルマラット）  第7回. 大きな企業不祥事の事例（ユービーエス、リーマン・ブラザーズ）  第8回. コーポレート・ガバナンスの内部チェック仕組み（株主総会と取締役会）  第9回. 従業員や女性の取締役会参加についてのディスカッション  第10回. コーポレート・ガバナンスの外部チェック仕組み（政府規制、M&amp;A、敵対的買収）  第11回. M&amp;A、及び敵対的買収についてのディスカッション  第12回. 企業の社会的責任（CSR）について  第13回. 発展途上国におけるコーポレート・ガバナンスの特徴（先進国との類似点・相違点）  第14回. 期末レポート内容についての発表  第15回. 期末レポート内容についての発表</p>											
【履修要件】											
<p>英語でコミュニケーションできる能力、及び英語で書かれた学術的な文書を読解する能力が必要である。経済学や企業経営の知識がなくても受講できる。</p>											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>以下の基準により成績評価を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出席率、討論への参加、授業課題の提出: 50%</li> <li>2. 期末レポートの質と発表: 50%</li> </ol> <p>4回以上授業を欠席した場合、単位を認めない。</p>											

〔教科書〕

R. Monks and N. Minow (2008), *Corporate Governance*, 4th edition, John Wiley & Sons

〔参考書等〕

W. Sun, J. Stewart and D. Pollard (eds.) (2011), *Corporate Governance and the Global Financial Crisis*, Cambridge University Press.

追加の参考書等を授業中に適宜紹介する。

〔授業外学習（予習・復習）等〕

授業前に予習すべきことは口頭で説明する。

〔その他（オフィスアワー等）〕

この講義は基本的に英語で行うが、受講生の英語コミュニケーション能力により日本語も使うことがある。また、この講義についての問い合わせは日本語でも受け付ける。

面談を希望している受講生は、(1)名前、学籍番号、所属；(2)可能な面談日時（第3希望まで）を書いて [ialnazov@econ.kyoto-u.ac.jp](mailto:ialnazov@econ.kyoto-u.ac.jp) にメールをください。なお、私の履歴、教育や研究活動について知りたい方は、<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~ialnazov/> を参照してください。

講義のスライド、討論用の課題、レポートの要件等は、<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~ialnazov/> からダウンロードできる。